

## 目標達成計画

評価日:令和1年12月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20 21	同じ建物内であるが、ユニット間の交流は行事程度しかないため、入居者同士が関わり合い交流を深められるように支援を行っていく必要がある。また、外部からのボランティアなどを受け入れ更に交流が図れるように工夫する必要がある。	・1・2階のユニット間、地域やボランティアとの交流を絶やさない	①1階利用者に職員と共に物品を2階に持ってあげてもらおう、又は2階利用者と職員で1階に取りに下りる ②少人数でも1階入居者が2階へ上がる、又は2階入居者が1階へ降り一緒におやつを食べる時間を作る ③家族会に地域や学生ボランティアに参加してもらうようにご家族やボランティアの協力依頼	12ヶ月
<<評価>>①感染予防のため今は行えていない。また、アルバイト職員が物品は行っている。 ②時間帯が少しずれており、できていない。 ③年に何度か行えている					
2	35	西日本豪雨の際は実際に2階への避難が必要となった。いざという時慌てず最善の行動がとれるように、防災や防火の意識を高め、訓練の実施や地域との協力体制を築いておく必要がある。	・職員一人一人の防災・防火への意識を高め、非常災害時に慌てず対応できる	①非常災害時のマニュアルの見直し・整備 ②避難口・消火器の場所・緊急時の連絡体制等をカンファレンス時に確認していくことの継続 ③水害などの災害に備え、1階から2階への避難誘導訓練を継続 ④定期的に備品の整備・備蓄を点検(電池・飲料水・保存食など)を実施する ⑤地域・家族から防災・防火・防犯についての意見をいただき反映していく ⑥消火訓練等消防に相談、実施につなげる ⑦“もしもの時の対応(特に夜勤)”を日頃から各自シミュレーションしておく	12ヶ月
<<評価>>①できている。全職員が、日ごろから焦らず対応できるように気を付けている。②2階事務所入り口付近が狭く、車椅子が通れない。③年に1度実施。④できている。⑤できている。⑥消防署参加での訓練は行えていない ⑦業務に追われ、なかなかできていない。					
3	49	計画された外出行事は行えているが、日常の散歩や入居者の希望による外出が十分行えていない。	・これまで外出の機会が少なかった入居者の優先的な外出支援 ・本人の希望に沿った外出(買い物等)の同行	①職員間での業務連携により外出の時間を作る ②外気浴を定着させ、散歩などを通して近隣の方との交流を深める ③福祉車両への車椅子の乗降を全職員が正確にできるようにする ④北ふれあいセンターの活用(資源ごみ、図書等) ⑤地域の行事(町内会その他、コミュニティーセンター等)情報をリサーチし外出の機会を作る	12ヶ月
<<評価>>①手が回っておらず、行えていない。②時候の良いときは外気浴できているが、近隣の方と会う機会はほとんどない。③できない職員もいるため、できない職員は早めに対応する必要がある。(教えてもらい行ってみる) ④現在は余裕がなく行けていない。車両など活用し工夫して行っていく必要がある。⑤夏祭りくらいしか行けておらず。車椅子率が高く車での移動がしにくい。					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。